

守口市のいま・むかしを体験

9月18日～22日、文化センターで、市制施行70周年を記念した市文化財展の企画展示が開催されました。「守口市の70周年～写真と広報でたどるわが町～」をテーマに、市内の昭和30年代を中心にした昔と現在の比較写真や、当時の広報誌・グラフ守口などの実物資料が展示されました。

来場者からは「昔と現在の写真を比べて見ることで、守口が大きく変わってきたことを振り返ることができた」「これからの守口の発展を考えていくためにも貴重な資料なので、次の世代にも伝えていきたい」との感想がありました。

開催期間中、約200人が会場に訪れ、最終日には説明会が行われました。



講師 橋本孝成氏

共に祝った新庁舎完成と市制施行70周年

10月29日～11月2日、姉妹都市カナダ・ニューウエストミンスター市から、ローリー・ウィリアムズ市長代りを団長とする訪問団一行が訪れました。

訪問団は10月30日、新庁舎完成記念イベントの文禄堤のパレードや式典に参加し、市の新しい門出を祝うと共に、市民との交流を大いに深めました。

「もりぐち夢・未来大使」とのトークショーでは、「市内はとても清潔で、市民には笑顔があふれていてとても住みやすい街だ」との印象を語っていました。

10月31日には表敬訪問、新庁舎やさつき学園の見学を行い、市の現状や市制70年の歴史について、活発な意見交換が行われました。



柿はどうやっておいしくなるの？～柿の渋抜き体験学習～



柿の生産が全国一であり、市と友好都市提携している和歌山県かつらぎ町の協力により、10月27日、梶小学校3年生が柿の渋抜き体験学習を行いました。今年、かつらぎ町イメージキャラクターの「かきおうじ」も駆けつけ、はじめにかつらぎ町職員から柿の説明を受け、渋抜きと渋抜きをした柿の食べ比べと、渋抜き体験をしました。子どもたちは両手にハロウィンのシールを貼った渋柿を持ち、渋抜きに興味津々でした。



カメラアイ Camera Eye

10月中はだんじりの練り歩きが市内各所で行われ、太鼓や鈴の音が各地で鳴り響き、賑わいました。また、10月22日、南寺方新調地車入魂式および23日、入魂祝賀会が行われ、集まった皆さんは、動き出しその細かい木彫り技術に見入っていました。



「寺方提灯踊り」が正面に掘られています。

だんじりたちが秋空の中で踊る!!

シルバークフェア開催

10月15日、京阪電車守口市駅前カナディアンスクウェアでシルバークフェアが開催されました。

壮大なオープニングコンサートで始まり、植木・大工体験やチャリティーバザーなどが行われ、「もり吉」も駆けつけました。会場は若者にも負けない活気に溢れていました。



オリジナルフレーム記念切手

かんきょう「歓響都市もりぐち市制施行70周年記念」を発売!

市制施行70周年を記念して、シンボルキャラクター「もり吉」を中心に、新庁舎や地域の風景、歴史や文化などを収めた、記念切手の発売が開始されました。

発売を記念し、10月24日、日本郵便株式会社近畿支社より守口市長へ記念切手の贈呈式が行われました。

地域振興課でも販売を開始しています。

(9ページ参照)

